



「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた取組み～

2026年 1月 19日

地方創生対話フォーラム @九州・沖縄ブロック



「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」策定(九州地域戦略会議)

九州地域戦略会議

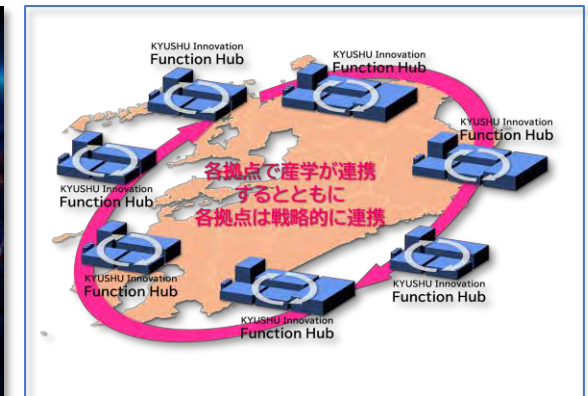
設立:2003(H15)年10月28日

目的:「九州はひとつ」の理念のもと、官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進に取り組む。

共同議長	九州地方知事会 会長 河野 俊嗣 (宮崎県知事) 九州経済連合会 会長 池辺 和弘 (九州電力 会長)
監 事	沖縄県知事 玉城 デニー 九州経済連合会 副会長 柴戸 隆成 (福岡銀行 会長)
委 員	【行 政】 九州地方知事会会員各県知事 【経済界】 九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会
共同事務局	九州地方知事会事務局、九州経済連合会

九州地域戦略会議における議論・決議

- 第44回九州地域戦略会議(2023年10月)において、「新生シリコンアイランド九州」実現のため、グランドデザインを策定することを決議
- 産官学金の協議メンバーによる協議を経て、第45回会議(2024年6月)にて新生シリコンアイランド九州グランドデザインを決議
- グランドデザインの位置付け:
半導体製造拠点を立ち上げるだけでなく、将来にわたって九州が世界の産業サプライチェーンの中核を担い続けるための、九州の産官学金で共有される基本方針
- グランドデザインでは目指す姿＝ビジョンを描き、それを実現するための課題を網羅的に整理



新生シリコンアイランド九州グランドデザイン ～ビジョン

ビジョン「新生シリコンアイランド九州2040」

世界有数の半導体ビジネスエコシステムを擁し、国内外との協業により、“半導体の生産と応用”および“トップ人材をはじめとする人材の輩出”をリードし続ける「イノベーション・マルチハブ」

1. 世界有数の半導体ビジネスエコシステムを擁するイノベーション・マルチハブ

九州に集積した多様な半導体ユーザー企業・設計企業・製造企業が、国内および台湾をはじめとした諸外国・地域の企業・大学・研究機関と密接に連携してビジネスモデルを創出し、サプライチェーンを構築し、「設計・製造技術」、「最終製品・サービスの付加価値」が九州発でスパイラルアップし続けている。国・自治体・インフラ事業者・金融界は、それを強力に支援している。

2. “半導体の生産と応用”をリードし続けるイノベーション・マルチハブ

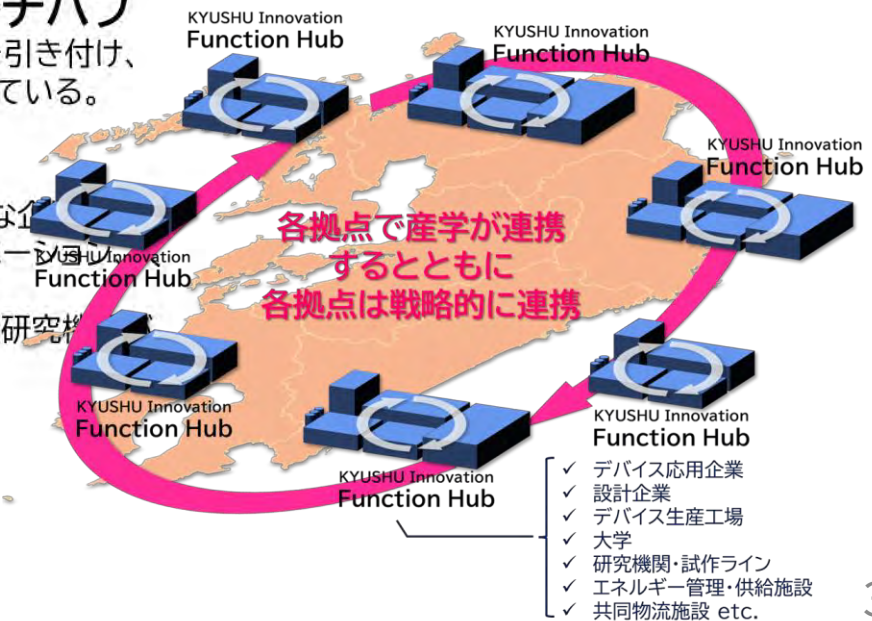
日本の経済安全保障の一翼を担う「半導体の安定供給基地」にとどまらず、半導体を応用した「モノづくり(≒製品)」と「コトづくり(≒サービス)」によるDX・GXが進展し、新たな価値創出と社会課題解決の先進地となっている。

3. “トップ人材をはじめとする人材の輩出”をリードし続けるイノベーション・マルチハブ

産学が融合する最先端のセミコン拠点として、技術・技能系人材を育成・輩出するとともに、グローバルに人材や資金を引き付け、起業やスキルアップを促し、新たなチャレンジを通じて需給双方のトップ人材を輩出し続けるイノベーション拠点となっている。

※「イノベーション・マルチハブ」について

- 農業等他産業や都市機能とのバランスを考慮しつつ、九州全体で「産業競争力の源泉エリア」となるべく、国内外の多様な企業・研究機関などのあらゆるセクターがつながり、ビジネスエコシステムを構築し、半導体の生産・応用の密接な連携とイノベーション人材の育成・輩出を推進
- そのために、地域の産業集積等を勘案しながら、ビジネスエコシステムの中核となる企業のR&D拠点や製造拠点、大学・研究機関が集積する産学連携拠点を多極的に整備し、各拠点は戦略的に連携



新生シリコンアイランド九州グランドデザイン ～ビジョン実現に向けた課題

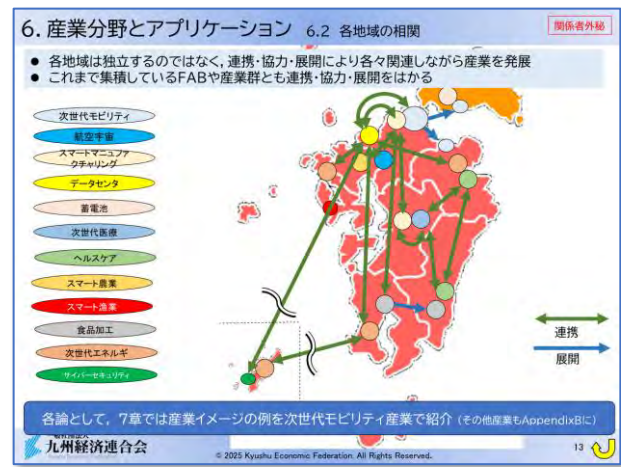
1-1 ビジネスエコシステム構築のための具体的取組みの立案	1-2 ビジネスエコシステム中核拠点の整備	1-3 オープンイノベーションの仕組みづくり	2-1 用地確保等	2-2 交通インフラ整備	2-3 後工程確立	3-1 ビジネスモデルの創出	3-2 重点応用分野の研究開発機能の強化	3-3 新しい重点応用分野の創出
1-8 情報発信強化	1 ビジネスエコシステム	1-4 産学連携共同研究開発促進	2-8 サプライチェーン強化	2 半導体生産	2-4 設計企業誘致等	3-8 具体的応用策創出	3 半導体応用	3-4 新規事業・スタートアップ創出・支援
1-7 TLO強化	1-6 新規事業・スタートアップ創出・支援	1-5 マッチング強化	2-7 資源確保	2-6 既存企業による生産機能の拡充・強化	2-5 重点生産分野の研究開発機能の強化	3-7 研究・開発環境整備	3-6 実証支援	3-5 試作環境の整備
8-1 ビジネスエコシステム中核拠点の整備・運営	8-2 ワンストップサービス	8-3 進出に係る規制緩和	1 ビジネスエコシステム	2 半導体生産	3 半導体応用	4-1 人材確保	4-2 大学間役割分担	4-3 高度研究機関誘致等
8-8 金融支援	8 公的支援・金融支援確保	8-4 補助金・税制面での支援	8 公的支援・金融支援確保	シリコンアイランド九州2040ビジョン	4 人材育成の仕組み	4-8 域内外大学等との連携	4 人材育成の仕組み	4-4 産学連携
8-7 金融・投資	8-6 外国人材	8-5 実証のための規制緩和	7 地域連携・国際連携	6 選ばれるまちづくり	5 研究開発	4-7 先進地留学促進	4-6 半導体生産・応用分野の研究者・技術者増	4-5 分野融合研究
7-1 地場企業(素材、装置、装置部品等)のサプライチェーン参入支援	7-2 諸外国・地域からの企業進出支援	7-3 在外企業・人材との連携	6-1 環境負荷の低減	6-2 官民各種サービスのデジタル化	6-3 官民各種サービスのユニバーサル化	5-1 高度研究機関誘致等	5-2 スター人材招聘	5-3 研究・開発環境整備
7-8 技術開発連携	7 地域連携・国際連携	7-4 大学・研究機関連携	6-8 移住促進・外国人材積極サポート施策	6 選ばれるまちづくり	6-4 交通サービス高機能化	5-8 次世代技術の研究	5 研究開発	5-4 研究資金確保
7-7 教育連携	7-6 金融・投資	7-5 中央要望	6-7 基礎自治体広域連携によるエリアデザインの策定	6-6 防災レジリエンス強化	6-5 教育サービス高機能化	5-7 域外連携	5-6 基礎研究推進	5-5 シーズ技術の事業化

グランドデザイン策定後の取組み

重要課題	会員企業等との連携	行政との連携	台湾との連携
ビジネスモデルの創出	【半導体戦略専門部会】 ・ビジネスモデル(産業テーマ)選定 ・ビジネスエコシステム中核拠点の整備・運営に関する課題・具体的取組みの検討 ⇒拠点の整備・運営に係る新制度案策定・要望 ・JASM(TSMC)等サプライチェーン参入に向けた取組み 【IC設計拠点】 ・設計拠点立上げを大学や企業・金融機関、自治体、台湾等と検討		
ビジネスエコシステム中核拠点の整備		【九州半導体人材育成等コンソ】 ・人材育成、SC強靱化 【九州地域戦略会議「新生シリコンアイランド九州プロジェクト」・広域リージョン連携】 ・官民連携施策検討・実施 ・広域リージョン連携 【各県との個別連携】 ・拠点整備に向けた協議 【基礎自治体との連携】 ・北九州市「G-CITY戦略」検討会議 ・九州市長会でのグランドデザインの紹介 ・基礎自治体との意見・情報交換	
サプライチェーン強靱化(JASM等サプライチェーン参入)			【日台連携】 ・TAITRA・JETROとの三者MOU ・日台企業の協業支援(九州大学・NYCU・Q-BASS連携) ・日台企業マッチング支援(SIIQ・Q-BASS等との連携)

グランドデザイン策定後の取組み

●半導体戦略専門部会 ～九州における産業テーマの検討、ビジネスエコシステム中核拠点の整備・運営に係る新制度案策定・要望



九州各地における産業テーマの検討



ビジネスエコシステム中核拠点の整備・運営に係る制度案の検討

●九州半導体人材育成等コンソーシアム

構成員： 産業界(76)、教育機関(34)、行政機関(15)、金融機関(12)、協力団体(18) 合計155団体

事務局：  経済産業省
九州経済産業局  九州半導体・デジタルイノベーション協議会

人材育成WG

サプライチェーン強靱化WG

海外との産業交流・人材交流

■ 半導体人材育成と確保
・半導体産業のプレゼンス向上、人材育成カリキュラム作成等

■ 企業間取引・サプライチェーンの強化
・大手企業と地域企業等とのマッチングプラットフォーム構築、新たな投資案件の創出等

■ 海外との産業交流促進
・海外の関連機関とのアライアンス形成による産業交流(人材交流を含む)等

グランドデザイン策定後の取組み

●九州地域戦略会議 第3期九州創生アクションプラン・広域リージョン連携・新生シリコンアイランド九州情報連絡会

第3期
九州創生アクションプラン

イランド九州プロジェクト

（プロジェクトリーダー：九経連）

概算経費	500千円／年
各団体負担の考え方	戦略会議予算より提出（別途拠出なし）
実施期間	令和7年6月～令和12年3月
事業スキーム	
【推進体制】	新生シリコンアイランド九州情報連絡会を中心に取組みを推進（共同事務局：九経連、熊本県）
【事業の進め方】	定例の会合を年2回開催。必要に応じて別途会合開催。
KPI（重要業績評価指標）	イノベーション・マルチハブを構成する産学官連携拠点の累計件数（当初（R7.3）：0件）（目標（R12.3）：5件（累計））

「新生シリコンアイランド九州プロジェクト」

広域リージョン連携ビジョンについて	
九州地域戦略会議 広域リージョン連携実案 九州地域戦略会議は、平成18年に「九州創生ビジョン」を策定し、その実現に向けて取り組んできた。その中で、広域リージョン連携の推進が重要な課題として認識され、取り組んできた。その中で、広域リージョン連携の推進が重要な課題として認識され、取り組んできた。	
グランドデザインで整理した課題	官民連携施策案
1-2 ビジネスエコシステム中核拠点の整備	①新たな特区制度創設についての政府要望（用地整備に係る規制緩和・特例適用・財政措置、進出企業に対する税制支援など）
8-4 補助金・税制面での支援	②くまもとサイエンスパーク推進ビジョンの取組み促進・他地域との連携促進
1-3 オープンイノベーションの仕組みづくり	③産学連携による共同研究開発の促進制度についての政府要望（企業主導型の産学共同研究プロジェクトへの財政支援、運営交付金見直し、兼業規制の緩和など）
1-4 産学連携共同研究開発促進	④中小企業のコア技術等のデータベースを活用するマッチングプラットフォームの構築
1-5 マッチング強化	⑤九州合同商談会の開催
1-5 マッチング強化	⑥海外大型展示会での九州バビロン出展
2-8 サプライチェーン強化	⑦スタートアップ企業の製品・サービス等の公共調達への促進（構成自治体内の認定事例の相互活用）
1-6 新規事業・スタートアップ 創出・支援	⑧工業団地の整備促進（市町村等が行う半導体関連企業等の誘致を目的とした工業団地整備に係る基盤調査事業（適地調査、地質調査等）に対する補助）
2-1 用地確保	⑨大手半導体関連企業のニーズについて、各県の企業が解決策を提案する場を設置
2-8 サプライチェーン強化	⑩公設試や工学系大学へのクリーンルームや検査機器等の計画的整備
3-5 試作環境の整備	⑪公的支援機関による研究開発支援機能の強化
3-7	⑫未来の半導体人材の育成（中高生を対象とした教育プログラム開催）
5-3	⑬公的支援機関による人材育成機能の強化
4-1 人材確保	⑭日台マッチングイベント事業（日台の大学の教授による研究マッチングイベント開催）
7-7 教育連携	
4-8 域内外大学等との連携	

広域リージョン連携

産・学

官

九州経済連合会(事務局)

九州半導体・デジタルイノベーション協議会

九州工業大学

九州商工会議所連合会

九州経済調査協会

九州大学

熊本大学

経済産業省九州経済産業局

山口県

福岡県

佐賀県

長崎県

熊本県

大分県

宮崎県

鹿児島県

沖縄県

新生シリコンアイランド九州情報連絡会

グランドデザイン策定後の取組み

●基礎自治体との連携



北九州市「G-CITY戦略」検討会議



九州市長会総会でのグランドデザインの紹介
(2025年10月)

●日台連携の取組み



TAITRA・JETROとのMOU
締結式(2025年9月)



日台半導体産業共創イベント(2025年7月)